

BEAMS JAPANと 美濃加茂市

市制施行70周年を市民の皆さんと盛り上げ、地域の魅力を再認識する機会とするため、市内事業者の皆さんと(株)ビームスの日本の良さや面白さを世界に発信する事業「BEAMS JAPAN(ビームス ジャパン)」とが連携して「市制施行70周年記念商品」を開発する事業を実施しました。美濃加茂市は、令和2年度から3年間BEAMS JAPANと連携したふるさと納税返礼品の開発および監修事業を行いました。この事業では、地域産品を通して、市内外に暮らす人たちが市の魅力を再確認することはもちろん、事業者の皆さんがBEAMS JAPANと協働することで、本市における新たな「稼ぐ力」の創出を目的に実施したものです。こうした経緯もあり、市制施行70周年の記念商品の開発を、BEAMS JAPANのディレクターからのアドバイスおよび監修のもと、市内事業者の皆さんと行いました。

市制70周年おめでとうございます。今回の記念商品開発のを中心に美濃加茂市のお話をさせていただきましたと思います。

鈴木さんから見た美濃加茂市

今回の商品開発から遡ること4年、ふるさと納税返礼品の監修をご依頼いただいた日から、私たちビームスと美濃加茂市さんのシティブロモーション事業が始まりました。私の中で美濃加茂市という、“電車で何度か通り過ぎたことのある場所”というくらいの認識で、仕事で関わらせていただくまでは一度も足を踏み入れたことのない町でした。

そんな町に、視察で初めて訪れた私ですが、町を周り始めた時の第一印象

は「美濃加茂市って…ちょっと薄味な町かも…」でした。しかし何度か市役所の皆さんの案内で市内を周り、この町を知り始めると「あれ…なんか味がしてきたかも?」と感じるようになり、市内のほぼ全域を周る頃には「やっぱりすぐく味の町だ!」と、少しずつ増していく魅力にワクワクしたことを覚えています。これもひとえに町の魅力をしっかり認知している市役所の皆さんや地元の方々の協力があったからだと思います。

こうして特徴が薄いと思っていた美濃加茂市は、いつからか私の中で「噛めば噛むほど美味しくなる」たぐさんの味を秘めた町に変わっていました。

つい最近、ある雑誌のコラムの中でも「岐阜の旅で訪れたいスポット」とし

て美濃加茂市を紹介しており、私個人としても、もっと魅力を知ってもらいたい場所の1つでもあります。

記念商品にこめた思い

昨年までは、ふるさと納税返礼品の開発＝歳入の増加という明確な目標があり、皆でそこに向かって商品を考えていけばよかったです。今回は70周年記念ということで「美濃加茂市らしさ」「美濃加茂市といえば」といったことを深く掘り下げる必要がありました。これは今後の課題でもあり、今回一番悩む部分だったと思います。

また、ご依頼いただいた身で本当に余計なお世話かもしれませんが「70周年の記念商品」という今回のテーマには私は当初から少し違和感がありまし

た。市制70周年というのはとても素晴らしいことですが、これはあくまで通過点だと思います。この言葉を意識しすぎて、考えが小さくまとまってしまう心配もあったので、初回のミーティングでは、そういった思いを事業者さんにお伝えし、70周年に限定したものでなく、80年、90年、100年と長く続いていく、未来を見据えた商品を作ることを目標にしました。

商品開発を終えて

4年前、初めて商品の監修をした頃、どの事業者さんも割と受け身でしたが、今回はその頃の姿からは想像がつかないほど皆さんとても主体的に考えてくださって、よくごこまでやってくださったなあ…という思いでいっぱい

です。品質はもちろんのこと、最初に共有させていただいた目標も、ネーミングやストーリーにうまく現れていて、今まで形にするのが難しかった「美濃加茂市らしさ」がたくさん詰まった素晴らしい商品が完成しました。

美濃加茂市さんに限らず、私たちがこうして自治体の方々と共有できる時間は限られていて、いつか離れる日が来ますが、そうなった時に、関わった方々がその後も自力で考え、自走できるようにしていくことが私たちの本望であり、一番嬉しいことです。

今回そういった、常日頃私たちが思い描いているような力を皆さんは着実につけていました。短期間ではありましたが本当に手ごたえを感じる商品開発だったと思います。

BEAMS JAPAN
クリエイティブディレクター

鈴木修司

1976年、三重県松阪市生まれ、ビームスと同年です。年間120日近くを旅に費やし、日本各地のさまざまな場所で魅力的なモノ・ヒト・コトに関わる仕事をしています。肩書きは「BEAMS JAPAN」のクリエイティブディレクター、日本に関係することであれば比較的なんでも来いのスタンスです。大学などで講師を務めることも。「銘品のススメ」著者、「都道府県おでかけ図鑑」監修。

美濃加茂市のこれから

有名な観光スポットや名産品など、知名度と直結する魅力を持ち合わせていることはとても大切ですが、全国を見渡すと、そのような自治体ばかりではありません。美濃加茂市もどちらかといえ

ば後者にあたると思います。ただ、私が数年前から感じていた「噛めば噛むほど美味しくなる」という感覚は、この町の魅力として存在し、今日まで、自分の住む町を自分ゴトとして捉えている方々の熟意によって支えられていると思います。

この先、私たちビームスが関わったことも通過点になると思いますが、もっともっとレベルアップした美濃加茂市の姿が見られることを期待しています。この度は、ありがとうございました。